

「校内研修プログラム」の活用事例

～子どもが理解しやすい言葉がけのための校内研修～

【活用するシート】
Ⅲ－１ 学級づくり
② 教師の言葉がけ

研修時間

15分間

主 な 内 容		
○ 発達障がいのある子どもが、どのような言葉がけをすると理解しやすいかについての理解を深める研修		
手 順		
準 備	・「Ⅲ-1 学級作り ②教師の言葉がけ」のシート。 ※事前に例1～3のどの「言葉がけ」につて検討するかを決めておく。 ・学年やブロックごとのグループに分ける。	
タイム テー ブル	3分	1 研修のねらいの確認 ・発達障がいのある子どもに対する配慮の必要性について考える。 ※発達障がいのある子どもにとって「聞き言葉」の理解が難しいことを共通理解できるようにする。
	1分	2 研修方法の説明 ・「『好意に満ちた言葉がけ』に変えるために留意すること」について協議する。
	2分	3 シートを活用した演習 ① シートへの記入 ・シートの例を参考にしながら、教室にいる子どもに対する言葉がけを想定して、「好意に満ちた言葉がけ」を記入する。
	6分	② グループで交流 ・記入内容の交流をする。
	3分	4 まとめ・振り返り ・「好意に満ちた言葉がけ」に変えるために留意することについて、振り返る。
事後の取組		○ 振り返りに書いた「好意に満ちた言葉がけ」に変えるために留意することを、紙面交流する。

ここがポイント！
記入例を自校の子どもに当てはめて考えることが重要です。

研修シート(試案)

Ⅲ－１ 学級づくり

② 教師の言葉がけ

◎ ねらい
通常の学級における発達障がいのある子どもへの配慮を含めた学級づくりの取組を交流し、指導上の課題や解決の方向性を整理する。

1 実践の検討(「言葉がけ」を「好意に満ちた言葉がけ」に変える事例を検討し、子どもへの教師の言葉がけの在り方を整理する。)

	「言葉がけ」	「好意に満ちた言葉がけ」
例1	「またA君か。誰かがけがしたら、どうするの。危ないって言ったでしょ！」	
例2	「静かにしなさい！」	
例3	「教室のごみを拾って、ごみ箱に捨てたんだね。えらいね。」	

2 振り返り(教師の言葉がけについて、改めて気付いたこと)

○ 日常の場面でつい言ってしまう「子どもが理解しにくい言葉」をどのように変えたらよいか、交流することができました。
○ 冗談のつもりで、つい、きつい言葉を言ってしまうことに気付きました。